

広島市立安佐市民病院 消化器内科・内視鏡科（平成 21 年度）

1. はじめに

初期臨床研修において医療の基本的知識と技術を修得した後、広島大学第一内科関連病院の一環として、消化器内科専門医を目指すコースである。消化器疾患の専門的知識を学び、患者中心のより高度なチーム医療を実践し、適切で正確な診断と治療を修得する。

2. 概要（平成 20 年度）

①研修責任者 内視鏡科・内科主任部長 大越裕章

②医師数 指導医 6名 後期研修医 4名

③病床数 45床

入院患者総数 1,690名 1日平均入院患者数 46.6名

平均在院日数 10.4日

④外来

外来患者総数 20,277名 1日平均外来患者数 83.8名

初診患者数 2,364名 紹介患者数 1,507名

紹介率 61.7% 逆紹介率 117.2%

⑤内視鏡検査・治療件数 (8,547件)

上部消化管内視鏡検査	5,129件	うち食道, 胃 ESD・EMR	158件
		内視鏡的止血術	220件
		EIS・EVL	51件
		胃瘻造設術	86件

大腸内視鏡検査	3,162件	うち大腸 ESD・EMR	587件
---------	--------	--------------	------

ERCP・ENBD・EST	256件
---------------	------

⑥その他の検査・治療件数

上部消化管 X線検査	141件
------------	------

注腸 X線検査	130件
---------	------

腹部エコー	2405件
-------	-------

肝生検	141件
-----	------

PEIT・ラジオ波	70件
-----------	-----

3. 研修内容

①研修診療体制

病棟診療は、指導医（常勤医）の指導のもと担当医として診療を行う。外来診療

は、原則として研修2年目から単独で行う。消化器領域の超音波、X線、内視鏡検査・治療の介助ならびに手技を修得する。またICU、病理または放射線科研修を受けられることができる。

②救急診療

消化器疾患の急患は、基本的にすべて受け入れ、指導医（常勤医）とともに診療を行う。また原則として研修1年目は、週1回内科救急当番として内科または他科の医師の指導のもと診療を行う。

③カンファレンス

内視鏡カンファレンス； 毎日 19:00～
 消化管合同カンファレンス； 毎週月曜 17:30～
 （内科・外科・放射線科・病理）
 消化管疾患カンファレンス； 毎週木曜 19:00～
 肝胆膵疾患カンファレンス； 毎週金曜 19:00～
 病棟カンファレンス； 随時

④研究活動

消化器関連研究会、学会、講演会に積極的に参加する。また関連研究会、学会で発表し、論文投稿を行う。

4. 専門医制度

- 日本内科学会認定内科専門医教育病院
- 日本消化器病学会認定指導施設
- 日本消化器内視鏡学会認定専門医制度指導施設
- 日本大腸肛門病学会認定施設

5. 研修日程（例）

	月	火	水	木	金
朝	病棟回診				
午前	胃内視鏡 大腸内視鏡	外来/ X線検査	ESD・ERCP 大腸内視鏡	腹部エコー	胃内視鏡 大腸内視鏡
午後	大腸内視鏡 ESD・ERCP	肝生検・PEIT EIS・EVL	大腸内視鏡 ESD・ERCP	大腸内視鏡 ESD・ERCP	大腸内視鏡 PEG・ERCP
夕	病棟回診・カンファレンス				

6. その他

- ①勤務時間 8：30～15：15
- ②当直回数 1～2回／月

- ③休日 土日曜日、祝日、夏季休暇
- ④身分 非常勤嘱託医
- ⑤給与 卒後3年目基本給：430,300円（+時間外手当）
- ⑥宿舎 なし
- ⑦学会出張支援 1回/年（発表に関しては、院長決済あり）

7. 当院の特徴

当院は、日本医療機能評価機構認定病院、地域がん拠点病院、地域医療支援病院などの認定、種々の学会における研修指定認定を受けており、とくに癌治療・救急医療などに重点を置いている。

当科は、消化管・肝臓・胆膵の専門医のもと、活動的に検査・治療を行っており、症例数は非常に豊富である。他科、コメディカルとの連携のもと、適切で確実な医療を実践している。